

令和 6 年度

事業報告書

社会福祉法人みなかみ町社会福祉協議会

社会福祉法人みなかみ町社会福祉協議会 令和 6 年度事業報告

1. 法人運営・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

理事会、監査会、評議員会の開催の他、会務の運営、会費等の募集、事業継続計画の策定に取り組みました。

会議の開催内容は、下記のとおりです。

(1) 理事会

期 日	議 案 内 容 等
R6. 6. 4	(報告) 1. 会長の職務執行状況について（令和6年3月1日から令和6年5月31日） (議案) 1. 令和5年度みなかみ町社会福祉協議会事業報告及び社会福祉事業収支決算の認定について 【監査報告】 1. 令和6年度みなかみ町社会福祉協議会社会福祉事業第1次補正予算の議決について 2. 令和6年度役員等賠償責任保険契約の締結について 3. 役員（理事）の候補者の選任について 4. 評議員の推薦について 5. 評議員会の招集について
R6. 9. 17	(報告) 1. 会長の職務執行状況について（令和6年6月1日から令和6年8月31日） (議案) 1. 令和6年度みなかみ町社会福祉協議会第2次補正予算の認定について 2. 令和6年度みなかみ町社会福祉協議会表彰該当者の選考について 3. 令和6年度福祉ボランティア顕彰該当者の選考について 4. 令和6年度小中高生福祉作文・ポスターコンクール審査について 5. 令和6年度福祉ふれあい川柳審査について 6. 自費訪問介護サービス事業運営要綱の制定について 7. 評議員会の招集について

R7.3.12	(報告) 1. 会長の職務執行状況について 2. 社会福祉法人みなかみ町社会福祉協議会事務局長の選任について (議案) 1. 令和6年度みなかみ町社会福祉協議会第3次補正予算の議決について 2. 令和7年度みなかみ町社会福祉協議会事業計画及び資金収支予算について 3. 評議員選任・解任委員会委員の選任について 4. 評議員会の招集について
---------	---

(2) 評議員会

期 日	議 案 内 容 等
R6.6.20	(報告) 1. 会長の職務執行状況について（令和6年3月1日から令和6年5月31日） 2. 令和6年度役員用賠償責任保険契約の締結について 評議員の選任について (議案) 1. 令和5年度みなかみ町社会福祉協議会事業報告及び社会福祉事業収支決算の認定について 【監査報告】 2. 令和6年度みなかみ町社会福祉協議会社会福祉事業第1次補正予算の承認について 3. 役員の選任について
R6.9.26	(議案) 1. 令和6年度みなかみ町社会福祉協議会第2次補正予算の承認について
R7.3.27	(議案) 1. 令和6年度みなかみ町社会福祉協議会第3次補正予算の承認について 2. 令和7年度みなかみ町社会福祉協議会事業計画案及び資金収支予算案の議決について

(3) その他会議

内 容 等
・監査会（令和6年5月27日） 令和5年度みなかみ町社会福祉協議会事業報告及び社会福祉事業収支決算並びに公益事業収支決算監査
・評議員選任・解任委員会（令和6年6月7日） みなかみ町社会福祉協議会評議員の選任について
福祉サービス第三者委員会（令和6年12月） 各委員にデイサービスセンター訪問をお願いし、利用者の声を聞いていただいた。

・役職員事業推進会議（令和6年7月18日） デイサービスセンターほたるの苑と新治ふれあいセンターの統合について
・役職員研修会（令和7年1月17日） 群馬県社協トップセミナーに参加
・管理職会議（毎月1回）①4/1 ②5/1 ③6/4 ④7/1 ⑤8/2 ⑥9/2 ⑦10/1 ⑧11/1 ⑨12/2 ⑩1/6 ⑪1/14 ⑫2/7
・係長管理者会議（毎月開催）①4/15 ②5/14 ③6/12 ④7/18 ⑤8/9 ⑥9/9 ⑦10/16 ⑧11/14 ⑨12/13 ⑩1/14 ⑪2/12 ⑫3/11
・委員会の開催（災害BCP委員会、感染症対策委員会、虐待防止委員会、ハラスメント防止委員会）

2. 生活福祉資金貸付事業・・・・・・・・・・・・・・・・

生活に不安を抱えた低所得、障害者及び高齢者世帯の方々に、資金の貸付けと合わせて必要な相談支援を行うことで、その経済的自立や生活意欲の向上を図り、また、在宅福祉、社会参加を促進し、安定した生活を送れるようにすることを目的とした生活福祉資金貸付事業を群馬県社会福祉協議会と協働して実施しました。令和6年度の貸付は3件でした（5年度4件）。

新規貸付件数（件）

月	計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
6年度	3	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1

令和6年度の貸付件数の内、1件は「不動産担保型生活福祉資金」で不動産鑑定前で保留中。

3. 高額療養費つなぎ資金貸付事業・・・・・・・・・・・・・・・・

傷病のための療養を要する場合に、国民健康保険法に基づく高額療養費制度が適用される方であって、高額療養費が支給されるまでの間、療養資金の調達が困難な世帯に対してその資金の一部を貸付け、生活の安定を図ることを目的として資金の貸し付け。令和6年度、相談は1件あったが、要件に該当しなかったため、貸し付けはありませんでした。

4. 日常生活自立支援事業・・・・・・・・・・・・・・・・

認知症高齢者、知的障害のある方で判断能力が不十分の方々の権利擁護に資することを目的に、専門員及び生活支援員による金銭管理等日常生活の援助を行いました。

◆日常生活支援員 7人

◆利用者数

区分	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	合計
6年度末利用者数	6人	7人	2人	15人
6年度新規契約者	2人	1人	0人	3人
6年度内終了者	5人	0人	2人	5人

◆月別援助時間一覧表(単位：時間)

月	計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
時間	171	16	15	14	14	13	16	16	14	14	13	13	13

(前年度207時間)

5. 権利擁護事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

(1) みなかみ町成年後見サポートセンターの運営

成年後見制度の利用促進と円滑な制度運用ができる体制づくりのため、制度利用に関するすべての過程において包括的に支援を行い、中核機関としての機能を担う「みなかみ町成年後見サポートセンター」を町からの受託により運営しました。

- ① 相談件数 10 件のうち支援会議で検討したものは 4 件。申請 2 件。
- ② 運営委員会 2 回（令和 6 年 8 月 22 日、令和 7 年 3 月 18 日）
- ③ 広報・周知
 - ・成年後見サポートセンターパンフレット作成
 - ・出張相談会 3 回 相談者 0（福祉まるごとサポートセンターと共催）
 - ・成年後見サポートセンター開設記念講演
（高齢者等支援ネットワーク連絡協議会共催）
令和 6 年 7 月 5 日 カルチャーセンター
「落語で楽しく学ぶ終活と成年後見制度」 生島清身 氏
参加者 122 人

(2) 法人後見事業の実施

認知症高齢者、知的障害者及び精神障害者など意思決定が困難な人の判断能力を補うため、本会が成年後見人、保佐人または補助人となることにより成年被後見人等の財産管理、身上監護を行い、その権利を擁護するため法人後見事業を実施しました。

- ① 法人後見運営委員会 2 回（令和 6 年 8 月 22 日、令和 6 年 11 月 28 日）
- ② 先進地視察 令和 6 年 7 月 10 日 たてばやし後見サポートセンター
- ③ 利用者数

区分	被後見人	被保佐人	被補助人	合計
6 年度末利用者数	1 人	0 人	0 人	1 人
6 年度新規契約者	1 人	0 人	0 人	1 人
6 年度内終了者	0 人	0 人	0 人	0 人

6. 高齢者福祉事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

(1) 自立支援型ホームヘルプサービス事業の実施

介護保険の認定にはならない人に対して、日常生活に支援が必要な高齢者へのホームヘルプサービスを町から受託して実施しました。

◆月別利用状況一覧表（生活援助）

月	計	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
実利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

（前年度 26 回 1 人）

◆月別利用状況一覧表（通院介助）

月	計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
回数	140	12	11	14	16	14	12	9	6	19	9	7	11
実利用者数	16	5	5	6	6	5	6	4	3	7	4	4	6

（前年度 167回 15人）

（２） 地域自立生活支援事業の実施

（ア） 健康教室

地域の公民館や会館を会場とし、健康体操を中心に認知症予防、ゲームなどを行い住民の健康の維持・改善を図ることを目的として町から受託して実施しました。

開催か所	14か所（前年度16か所）
延利用者数	832人（前年度927人）

（イ） 認知症カフェの運営

認知症予防のため、地域の集いの場を開催しました。

ふれあい交流館会場（湯原） 49回 延参加者数191人

のぞみ館会場（新巻） 50回 延参加者数175人

「認知症カフェイベント Vol. 5」令和6年10月20日 参加者400人

※第18回福祉ふれあいフェスティバル共催

（ウ） おでかけ倶楽部（送迎付き健康教室）

介護予防が必要な高齢者の閉じこもり防止や体力の現状維持及び向上を図ることにより、介護予防の自主的な取組と自立した生活ができるよう町から受託して実施しました。

今年度は合同での実施を4回。5、9月が水上会場、10、3月是新治会場。

◆実施回数一覧表（単位：回）

月	計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
水上	23	2	2	2	2	2	2	3	2	1	2	1	2
新治	23	2	1	2	2	2	1	3	2	2	2	2	2
合計	46	4	3	4	4	4	3	6	4	3	4	3	4

（前年度 水上24回 新治24回 合計48回）

◆参加者数一覧表（単位：人）

月	計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
水上	303	27	39	22	25	26	39	38	23	13	26	11	14
新治	321	28	11	24	22	30	14	41	28	39	25	22	37
合計	624	55	50	46	47	56	53	79	51	52	51	33	51

（前年度 水上221人 新治281人 合計502人）

(3) 地域包括支援センターの受託運営

(ア) 総合相談支援事業

高齢者の心身の状況や生活実態、必要な支援等を幅広く把握するため相談窓口を設置し、適切な支援を迅速に行うための体制づくりを行いました。

・相談件数 370件（前年度239件）

(イ) 介護予防サービス支援計画事業・介護予防支援事業

事業対象者や要支援者となった人の自立に向けたケアマネジメントを行うため、保健師、社会福祉士及び主任介護支援専門員等を配置し、必要に応じて指定居宅介護支援事業所に委託しケアプラン作成業務を行いました。

(ウ) 権利擁護事業（高齢者支援ネットワーク・成年後見制度利用支援事業）

認知症高齢者に対し成年後見制度に基づき手続きを行うほか、制度の周知を行った。また高齢者の消費者被害、虐待等に対応しました。

・成年後見相談	15件（前年度20件）
・措置の支援	0件（前年度0件）
・権利擁護	0件（前年度3件）
・高齢者虐待	9件（前年度9件）
・消費者被害	1件（前年度0件）

(エ) 包括的・継続的ケアマネジメント業務

個々の高齢者の状態や変化に応じた介護予防のケアマネジメントを行う必要から、地域のケアマネジャーの質の向上や抱える困難事例等に対し、必要な相談や助言、指導等の支援を行うとともに、町が抱える課題などの情報をグループワークなどにより共有し解決に向けた検討を行いました。

- ・地域ケア推進会議（医療・介護・認知症部会）6回
- ・地域ケア個別会議 7回
- ・主任ケアマネ会議 6回
- ・ケアマネ連絡会議 8回

(オ) 地域ケア会議推進業務

自立支援型地域ケア個別会議と地域ケア推進会議・医療・介護・認知症部会を開催しました。

(4) 在宅福祉サービス事業の実施

(ア) 給食サービス事業

ひとり暮らし高齢者の孤立感解消とバランスのとれた食生活を確保するため、希望者に週1回昼食時にお弁当の宅配を行いました。また実施にあたっては、配達にボランティアの協力をいただきました。

◆月別実利用者数（単位：人）

月 地区	実 利用 者	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
月夜野	39	34	34	34	32	30	30	30	28	29	26	27	27
水上	31	27	27	27	28	24	26	27	29	28	25	27	26
新治	27	18	17	20	19	21	23	21	21	19	21	20	20
合計	97	79	78	81	79	75	79	78	78	76	72	74	73

◆月別延べ利用者数（単位：人）

配食数	計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
月夜野	1402	105	133	102	106	136	111	146	117	119	110	112	105
水上	1247	98	127	104	118	94	96	122	104	99	92	98	95
新治	735	59	82	66	80	66	55	67	60	53	51	51	45
合計	3384	262	342	272	304	296	262	335	281	271	253	261	245

（前年度 月夜野 1,477 人 水上 1,099 人 新治 876 人 合計 3,452 人）

（イ）高齢者等紙おむつ購入助成事業

在宅における高齢者の介護者負担の軽減と利便性向上のため、紙おむつの販売、購入助成を町の委託事業により実施しました。

延べ利用者数 2,398 人（前年度 2,989 人）

在宅要介護重度高齢者紙おむつ等支給者延べ人数 147 人（前年度 67 人）

（５）介護機器の貸し出し

在宅福祉推進と介護者の負担軽減を図るため、介護機器の貸し出しを実施しました。

◆介護機器の種類と貸出台数

種 類	貸出台数（台）			
	月夜野地区	水上地区	新治地区	合計
介護用ベッド（手動式）	0	0	0	0（前年度1）
電動介護用ベッド	2	0	2	4（前年度2）
車いす	28	0	17	45（前年度28）
ポータブルトイレ	3	0	5	8（前年度6）
ピックアップ歩行器	0	0	1	1（前年度1）

（６）ふれあい・いきいきサロン設置推進

家に閉じこもりがちなひとり暮らし高齢者等を対象に、交流や仲間づくりの場「ふれあい・いきいきサロン」を各地域での自主的運営による、ふれあいサロン設置の支援と事業推進をはかりました。令和6年度は28ヶ所。新規立ち上げ2ヶ所。

①ふれあい・いきいきサロン代表者連絡会の開催

- ・第1回 令和6年6月6日（木） 町保健福祉センター 30名
- ・第2回 令和7年2月26日（水） 町保健福祉センター 32名

②ふれあい・いきいきサロン研修会の開催

令和6年8月26日（月） 町保健福祉センター 28名

内容：レクリエーション研修会 講師：大誠会 佐藤亜貴氏

③月夜野・水上・新治各地区で全体会を行い、交流を図る。

月夜野地区

令和6年10月28日（月） 町保健福祉センター 24名

内容：風水害24 講師：森峯子氏

水上地区

令和6年11月13日（水） みなかみ社協 水上支所 19名

内容：絵手紙

新治地区

令和6年10月24日（木） 奥平温泉 遊神館 118名

内容：歌体操 Sachi 歌謡ショー

④県社協主催 ふれあい・いきいきサロン推進連絡会等

- ・第1回群馬県ふれあい・いきいきサロン推進連絡会

令和6年5月9日（水） 群馬県総合福祉センター 会長・担当出席

- ・利根沼田ブロックサロン研修会

令和6年10月25日 利根沼田文化会館 26名

- ・第2回群馬県ふれあい・いきいきサロン推進連絡会

令和7年3月10日（月） 群馬県総合福祉センター 会長・担当出席

7. 児童福祉事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

（1）みなかみ町立水上児童館の管理運営

みなかみ町から指定管理者として、利用児童個々のペースに応じ、心身の健康の増進、情操を豊かにできる育成活動を実施しました。

運営状況一覧

月	計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開館日	289	25	24	25	26	22	27	25	24	23	22	21	25
利用者	3526	334	324	327	353	247	299	356	390	251	183	197	265

（前年度 284日 1,992人）

（2）子育て世帯訪問支援事業（令和6年度新規事業）

みなかみ町から受託して子育て世帯等に対して不安や負担を抱える家庭に対して訪問介護員が訪問して支援を行いました。

月	計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
世帯	1	—	—	—	—	—	—	0	0	0	0	1	1
回	8	—	—	—	—	—	—	0	0	0	0	3	5

（3）子どもの生活・学習支援事業

居場所の提供・生活習慣・学習習慣の確立、学習意欲の向上支援

- ・開催日数 51日（原則毎週土曜日）

- ・登録人数 14人（中学1年3人、中学2年2人、中学3年9人）

- ・延べ参加生徒数 187人

- ・支援体制（1回あたり） 支援員1名、大学生2～3人

- ・支援対象者 町内居住、生活保護受給世帯、就学援助制度の準要保護世帯、児童扶養手当受給世帯、県が必要と認める世帯の小学生及び中学生。受入体制等に応じて高校生も対象とする。

- ・支援内容

1）生徒に対する居場所の提供

日常生活習慣の形成、社会性の育成、子どもが安心して通える場所の提供

- 2) 生徒に対する学習支援
高校受験のための進学支援や、学校の勉強の補習、宿題の習慣づけ
- 3) ICT を操作・活用するための能力の向上を図るため、年4回以上 ICT スキルの向上に資する学習機会を提供
高校受験のための進学支援や、学校の勉強の補習、宿題の習慣づけ
- 4) その他、群馬県が認める生徒等の生活習慣・学習習慣の確立や学習意欲の向上に資する支援

8. 障害児者福祉・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

障害福祉サービスを中心に障害者福祉の推進をはかりました。

(1) 障害者ホームヘルプサービス事業

障害者総合支援法の障害サービス事業所として、居宅介護事業、同行援護、移動支援事業を実施しました。

居宅介護

(単位：人)

項目	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
延利用	1259	125	126	116	121	95	95	102	94	92	93	95	105
実利用	21	16	16	17	16	15	16	18	17	16	18	17	19

(前年度 延利用 1422 人、実利用 21 人)

同行援護

(単位：人)

項目	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
延利用	235	32	27	29	26	17	19	22	20	19	8	3	13
実利用	9	8	6	8	9	7	7	6	6	7	6	3	6

(前年度 延利用 335 人 実利用 11 人)

移動支援（町からの委託事業）

(単位：人)

項目	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
延利用	62	6	5	5	6	5	6	4	4	4	5	5	6
実利用	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2

(前年度 62 人、2 人)

(2) 障害者デイサービス事業（基準該当生活介護・自立訓練事業）

障害者総合支援法による基準該当生活介護・自立訓練事業としてデイサービス事業を実施しました。

◆月別実利用者（単位：人）

実利用	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
月夜野	3	2	2	2	2	2	2	3	3	2	2	2	2
水上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新治	1	0	0	0	0	1	1	—	—	—	—	—	—
合計	4	2	2	2	2	3	3	3	3	2	2	2	2

（前年度 月夜野 3 人 水上 1 人 新治 1 人 合計 5 人）

◆月別延べ利用者（単位：人）

延利用	計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
月夜野	165	17	19	16	16	17	15	17	21	8	6	6	7
水上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新治	8	0	0	0	0	4	4	—	—	—	—	—	—
合計	175	17	19	16	16	21	21	17	21	8	6	6	7

（前年度 月夜野 278 人 水上 115 人 新治 22 人 合計 415 人）

9. ボランティア活動の推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

(1) ボランティアセンター設置運営

□開館相談日： 毎週 月曜～金曜日（祝祭日・年末年始を除く）

□時間帯： 午前8：30～午後5：30

○ボランティア登録・斡旋・相談・保険加入事務

ボランティア保険加入者 695 人（前年度 760 人）

ボランティア行事保険加入 30 件／1748 人（前年度 23 件／814 人）

ふれあいサロン傷害補償 19 件／565 人（前年度 20 件 300 人）

(2) 介護支援ボランティアの推進

介護施設へのボランティア活動を通じて、高齢者や住民の地域貢献や社会活動奨励するとともに自らの介護予防や健康増進を推進し、より健康で生きがいのある生活を目指し平成29年7月よりボランティアポイントを付与して推進しました。

・登録ボランティア 157人（前年度143人）

・実活動人数 85人（前年度62人）

・延べポイント数（100ポイント＝1時間）

404,000ポイント（前年度304,890円）

・登録施設数 11施設（前年度同数）

・ボランティア活動実績のあった施設 3施設（前年度3施設）

(3) 除雪ボランティア活動の推進

・建設業者による除雪ボランティア活動 申込み15件（キャンセル3件）

- ・除雪ボランティア等による除雪支援 相談 29 件支援 18 件
(延支援者数 55 人(ボランティア 9 人、職員 46 人))
- ・登録ボランティア 21 人

(4) 収集ボランティア活動の支援

ペットボトルキャップ収集

令和 6 年度	2,232 kg	849654 個
令和 6 年度までの累計	339861.6 kg	14690954 個
ポリオワクチン数(累計)	12619.1 人	

10. 福祉教育の推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

町内小学校、中学校、高校の全校を福祉教育推進校(福祉協力校)として継続指定し、活動資金の助成と福祉教育の推進をはかりました。また実施に当たっては、視覚障害者の方やガイドヘルパー、地域の介護保険事業所の方々の協力を得て行いました。

- (1) 連絡会議の開催 令和 6 年 5 月 29 日 保健福祉センター
令和 7 年 2 月 21 日 保健福祉センター

(2) 体験学習への職員の派遣

- ・令和 6 年 11 月 27 日 桃野小学校 4 年生 福祉体験(高齢者疑似体験)
- ・令和 7 年 1 月 21 日 古馬牧小学校 4 年生 福祉体験(高齢者疑似体験・車いす体験)
- ・令和 7 年 1 月 23 日 桃野小学校 4 年生 点字体験
- ・令和 7 年 2 月 7 日 みなかみ町中学校 1 年生 福祉体験(車椅子、風船バレー・衣服着脱体験) 予定していたが、インフルエンザによる学年閉鎖の為延期その後中止となりました。

11. 寄付金品の受入・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

社会福祉の推進及び福祉基金の積立を目的に寄付金品の受入を行いました。

- 寄付(金銭) 7 件 397,231 円
その他、物品寄付等を多数いただきました。

12. 共同募金・歳末たすけあい運動の推進協力・・・・・・・・

赤い羽根共同募金事業、歳末たすけあい運動に協力し配分金を受け以下の事業を実施しました。

(1) 一般募金配分事業

- (ア) 在宅介護者リフレッシュ事業
在宅介護者へのマッサージと介護相談を実施(全 12 回、69 人参加)
- (イ) 福祉作文・ポスターコンクール(小中学校児童・生徒)

(2) 歳末たすけあい募金配分事業

- (ア) 歳末まごころ便宅配事業(75 歳以上の一人暮らしの方)
- ・令和 6 年 12 月 15 日(日)
 - ・配食数 699 食(月夜野 277 食・水上 207 食・新治 215 食)
(前年度 680 食(月夜野 268 食・水上 203 食・新治 209 食))
- ※対象者の年齢を 5 歳引き上げました。

- (イ) 福祉教育推進校事業 (全小中高校 8 校) に活動費助成
- (ウ) ひとり暮らし高齢者昼食会
令和 7 年 3 月 11 日 (火) 遊神館 19 名 (月夜野 7 水上 6 新 6)
- (エ) たかさご弁当 (85 歳以上のみの 2 人暮らし世帯)
・ 令和 6 年 11 月 22 日 (金)
・ 配食数 28 組 (月夜野 15 組・水上 5 組・新治 8 組)
(前年度 24 組 月夜野 15 組・水上 5 組・新治 4 組)

(3) 福祉車両貸出事業

外出支援に車いすごと同乗できる福祉車両をレンタカー業者との提携で貸出補助を実施しました。

◆月別利用状況一覧表 (福祉車両貸出事業) (単位: 件)

内容	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
貸出	6	1	1	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0

(前年度 15 件)

13. 福祉有償運送事業

要介護状態や身体の障害等により日常生活において、ひとりでの外出が困難な方を対象に実施しました。

◆月別実利用者、延べ利用者(単位: 人)

項目	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実利用	60	31	28	27	27	29	26	23	24	35	27	22	29
延利用	655	71	60	54	54	57	41	49	49	68	56	41	49

(前年度 82 人 908 回)

14. 生活困窮者自立相談支援事業

群馬県社会福祉協議会より委託事業して、生活上の困難を抱えた方の支援を行う相談窓口を設置しました。

・ 相談件数 63 件 支援調整会議 15 件 プラン策定 13 件

15. 地域福祉事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

(1) 買い物支援事業「相乗りで買い物（かいタク）」の実施

買い物が困難な方を対象に、町内のスーパーまで相乗りタクシーを実施し、運賃の補助を行いました。

実利用者 12人（前年度7人）
延利用者 190人（前年度157人）
実施回数 67回（前年度72回）

(2) 生活支援体制整備事業（みなかみ町委託事業）

(ア) 生活支援コーディネーターを月夜野地区・水上地区・新治地区に1名ずつ配置し、「みなかみ町生活支援体制整備事業実施要綱」第2条に掲げる事業を行うため、地区住民の代表、介護予防事業者、保健福祉の有識者等からなる第2層協議体を立ち上げ、各地区で定期的な会議をもちました。

(イ) 支え合い活動等の実施

生活支援コーディネーターが地域の生活課題解決のためにゴミ出しや移動支援の実施について高齢者と地域の協力者をコーディネートしました。

(ウ) ゴミ出し支援の実績

令和6年度 実利用者 7人 延べ利用回数 315回
令和5年度 実利用者 6人 延べ利用回数 271回
令和4年度 実利用者 4人 延べ利用回数 203回

令和6年度月別利用実績（回）

地区/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
後閑	6	5	5	4	4	4	4	2	4	4	4	4	50
後閑	4	5	4	5	4	4	5	4	4	4	4	4	51
湯原	11	9	8	8	9	9	9	9	1	1	0	0	25
小日向	6	4	4	4	4	4	4	4	5	3	0	4	75
湯原	10	9	6	5	4	4	4	4	4	4	4	5	46
後閑	—	—	—	—	—	3	4	4	3	4	3	4	63
後閑	3	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5
計	40	34	27	26	25	28	30	27	21	20	16	21	315

(エ) 住民ドライバーの福祉有償運送の実績（社協職員の実施を除く）

令和6年度 運行実績 20回

参考 令和5年度 運行実績 4回

令和4年度 運行実績 3回

令和6年度月別利用実績（回）

運転手	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
A	2	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	1	6
B	3	0	2	1	2	0	1	1	3	0	0	1	14
計	5	1	3	2	2	0	1	1	3	1	0	2	20

(オ) 1 層協議体及び地域包括支援センターとの連携

① 1 層協議体との連携

1 層 2 層合同会議 令和 6 年 5 月 24 日 保健福祉センター
令和 6 年 11 月 18 日 保健福祉センター

② 地域包括支援センターとの連携

地域包括支援センターが開催する会議へ生活支援コーディネーターが出席し、地域課題の共有をはかった。

・地域ケア推進会議医療・介護・認知症部会

令和 6 年 4 月 12 日 R6 年度「ご近所への心配り」について

令和 6 年 10 月 16 日 個別困難事例検討会

令和 6 年 12 月 12 日 介助や見守りが必要な人、入浴施設を利用するには～解決策や具体策を考えよう～ グループワーク

・地域ケア個別会議

令和 6 年 7 月 2 日 事例検討(やまぶきの苑居宅介護支援事業所、エムダブルエス 日高沼田営業所、みなかみ社協ケアプランセンター、通所介護おりづる)

令和 6 年 9 月 3 日 事例検討(みなかみ町地域包括支援センター 新治ふれあいセンター みなかみ社協ヘルパーステーション)

令和 6 年 3 月 4 日 事例検討(月夜野病院総合介護センター、みなかみ社協ケアプランセンター)

(カ) 担い手の育成

① 「障子張り講習会」 令和6年4月25日 社協水上支所

講師 鈴木保雄 氏

② 「雪かき初心者講習会」 令和7年1月26日 社協水上支所

講師 中島修一 氏

③ 「福祉のまちづくり講演会」 令和 7 年 1 月 24 日 保健福祉センター

講師 社会福祉法人新発田市社会福祉協議会 地域福祉課長 川瀬聖志 氏
講義 「みんなが主役の地域活動～「私」からはじまる笑顔の輪～

参加者 46 人

(3) 重層的支援体制整備事業(みなかみ町委託事業)

みなかみ町から受託して重層的支援体制整備事業を実施しました。

(ア) 多機関協働事業

① 重層的支援会議に参画して他の相談支援機関と連携を図りました

② 福祉関係事業調査票の更新し、事業の推進を図りました。

③ 相談窓口として心配ごと相談及び法律相談をそれぞれ月に 1 回開催、なんでも相談を実施しました。

心配ごと相談 4 件 法律相談 41 件

④ 相談員研修を兼ねて権利擁護事業の研修会を実施しました。

令和 7 年 3 月 8 日(土曜日)

テーマ こどもまんなか社会「こどもを守る地域づくり」

講師 大竹 智 氏(立正大学社会福祉学部教授) 参加者 23 人

⑤ 福祉まるごとサポートセンターに職員派遣し、新規相談に応じた。

(イ) アウトリーチ

- ① 見守り安心サポーターの拡充及び地域福祉推進協力店による地域の見守り体制整備

見守り安心サポーター 105 人

地域福祉推進協力店 45 店

- ② ニーズを抱える住民の把握を目的とし、継続的な訪問支援でつながりや信頼関係の構築

来庁による面談だけでなく、本人の生活実態や精神状態に合わせた支援方法を選択し柔軟かつ個別性ある支援を心がけた。すぺーすちっと等の利用を促し集団の中での支援につなげた。

- ③ アンケート調査の実施

民生委員児童委員を対象とし「ひきこもりや 8050 問題に関するアンケート調査」を実施しました。

- ④ 10 月 20 日（日）福祉ふれあいフェステバルで相談ブース出展。

相談件数は 0 件。日頃電話だけの関係機関などと直接話すことができ連携を深める機会になりました。

- ⑤ その他

ひきこもりや孤立の予防を目的に、また、子育ての悩みの身近な相談先となることのため、障がい児者等家族支援サロン「よってこ」が子どもから大人まで参加できるサロンを定期開催しています。「よってこ」の検討課題となっていた「支援を要する方の防災」を学ぶため、みなかみ町役場総務課危機管理室の協力得て、障がい児者とその家族を対象とした避難所体験会の開催。当会も協力しました。

令和 6 年 11 月 17 日 保健福祉センター 参加者 35 人

(ウ) 参加支援

- ① 利用者のニーズを踏まえたマッチングやメニューの作成

わら細工の家の新たな担い手を育成として活用検討や支援事業者間の意見交換や要支援者の社会参加の機会の創出をはかりました。

（わらわらカフェと共同開催）

9 月 12 日・10 月 10 日・11 月 14 日・12 月 12 日

- ② 友愛訪問の実施

民生委員協力員により 1 人暮らし高齢者の見守りを実施しました（5 人）。

- ③ 学びの教室の実施

・スマホ教室（初心者向け）

情報弱者になりがちな高齢者向けに LINE アプリを使用したメール、写真、動画等の送受信や町防災アプリ等の使用方法を中心にしたスマホ教室を実施。講師に移住者や今まで社会参加をすること出来ずひきこもっていた方、障害者、子育て中の母親等に依頼し就労の機会と地域の高齢者との交流をはかりました。

第 1 回 令和 6 年 6 月 10 日・17 日・24 日

会場：みなかみ町社協 新治支所（のぞみ館）

参加者実人数 11 名 延人数 32 名

第 2 回 令和 6 年 11 月 11 日・18 日・25 日

会場：みなかみ町ふれあい交流館

参加者実人数 5 名 延人数 15 名

第3回 令和7年3月3日・10日・17日

会場：みなかみ町総合体育館（ミーティングルーム）

参加者実人数 7名 延人数 15名

④ e-スポーツ等の活用で世代間交流の機会づくり

e-スポーツを通じた学童と高齢者との交流会を実施。多世代での交流を行うことでお互いに教えたり、教わったりの関係構築がはかられました。

・令和6年9月14日（土）

会場：みなかみ町社協 新治支所（のぞみ館）

参加者 延人数 34名

・令和7年3月18日（火）

会場：今宿生活改善センター

参加者 延人数 18名

⑤ 社会福祉法人等連絡会と連携し企業説明会を開催

令和6年12月19日 保健福祉センター

参加高校生9人 参加企業6法人11人

⑥ ひきこもり者等の社会参加の支援

ひきこもりや障がいのある方で、日中自宅以外の居場所に参加出来るように「みんなの居場所すぺーすちっと」を月2回開催。相談支援機関からの紹介のほか、「公的サービスを利用していない方への調査」で相談された方などが、継続して参加。ボランティアに協力していただき、参加者の興味あることを確認し休息の場となるように支援しました。

参加者のべ169名（18歳～64歳）ボランティア86名

（4）生活困窮者相談事業（みなかみ町委託事業）

① 生活保護相談の実施

月	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
件数	19	2	2	3	2	2	1	1	1	2	1	1	1

9月と1月はオンラインでの相談

② フードバンク事業

生活困窮者へ食料配布

月	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
件数	30	3	8	3	2	2	3	1	2	1	0	3	2

・主な寄付 町民から※230 kg、調味料、缶詰等

町より 缶入りミルククッキー他保存食入れ替え品

・一人親家庭にビスケット（R6.7.25-8.31） 10人

・一人親家庭に米10 kg等（R6.12） 28人

- ③ 研修会の開催 「群馬県のゴミの現状と食品ロスについて」
 講師 群馬県環境森林部廃棄物・リサイクル課
 令和7年1月31日 保健福祉センター 参加者 18人
- ④ オンライン相談の充実 ホームページによるオンライン相談を修正して充実を図りました。

(5) 生活困窮者支援等のための地域づくり事業

- ① 福祉アンケートの実施 町民 1,000 人対象に実施
- ② 居場所づくり わら細工の家を属性にとらわれない居場所としての活用をしていくために「わらわらカフェ」を試行的に開設した（9月～12月。4回）。ゲームや囲炉裏端で鍋をつつきながら、当事者や支援者との交流を図りました。
- ③ 福祉ふれあいフェスティバルの開催
 ・第18回福祉ふれあいフェスティバル(通常開催)
 令和6年10月20日(日) みなかみ町保健福祉センター
- 会長表彰 青柳和子(鹿野沢) 根津公安(月夜野)
- 感謝 大樹販売(沼田) タケイ(沼田) 相俣すすきの会(相俣)
- 福祉ボランティア顕彰 森蘭仁美(猿ヶ京) 山田眞喜子(猿ヶ京)
 上原アサカ(布施) 利根川てる子(布施)
 利根川太郎(布施) 原澤廣子(布施)
- 福祉ふれあい川柳入選
- 最優秀 番場正夫(後閑)「思いやり だけでは出来ぬ 老介護」
 優秀 杉山久美子(下牧)「ボランティア してもされても ありがとう」
 優秀 藤田俊彦(石倉)「回覧版 一声添えて 手から手へ」
 優良 石坂作次(鹿野沢)「たわいない 会話で弾む 介護の手」
 優良 大川テル子(湯原)「介護の日 むかしばなしに 花が咲く」
 優良 大川美知子(上津)「ピンコロを 目指して今日も ストレッチ」
 優良 林郁次(月夜野)「愚痴聞いて いれば笑顔に なる唄」
- 小中学生福祉作文ポスターコンクール入選者表彰
- | | | | |
|-------------|------|---------------|----|
| 作文 小学生低学年の部 | 応募無し | ポスター 小学生低学年の部 | 5人 |
| 小学生高学年の部 | 3人 | 小学生高学年の部 | 5人 |
| 中学生の部 | 8人 | 中学生の部 | 6人 |
- ・認知症カフェイベントVOL. 5を第18回福祉ふれあいフェスティバルと共催
 ライフネス及び上牧温泉病院スタッフによるヨガやフィットネスの実施や相談ブースの開設等、地域住民への認知症に対する理解を深める機会を設けた他、地域のキッチンカーの出店などで交流を図りました。
- ④ 地域の担い手研修会や地域の課題に応じた地域活動に向けた検討会の実施
 イ)「刈払機取扱作業安全衛生講習会」の開催
 地域の不耕作地や高齢者のみ世帯等への支援者を養成することを目的として標記講習会を開催しました。
 令和6年10月7日(月) 保健福祉センター 参加者 17名

ロ)「はじめてのドローン体験教室」の開催

小中学生向けとして地域福祉課題解決への関心を高めることを目的として開催しました。

令和6年9月7日(土) 楽天ドローンアカデミーみなかみ校

参加者 10人

ハ)「地域の普請事業(清掃奉仕作業)」

身近な地域における共助の取組を活性化させ、地域福祉の推進を図ることを目的として、「みなかみを綺麗にし隊M.Y'us(みゅーず)」の活動と協働し、役場本庁周辺道路やセブンイレブン上津店～月夜野大橋の歩道区間の清掃奉仕を行いました。

令和6年12月22日 みゅーずとの清掃作業

令和7年3月8日 みゅーずとの清掃作業

令和7年3月27日 利根商業高校とみゅーず、一般参加ボランティアとの清掃作業

16. 啓発・その他・・・・・・・・・・・・・・・・

(1) 広報紙の発行

社協広報紙「ひだまり」の全戸配布 年4回(5月・8月・11月・2月)

(2) ホームページの活用による啓発

17. 介護保険事業関係・・・・・・・・

介護保険法指定事業者として【居宅介護支援事業】・【訪問介護事業】・【通所介護事業】を実施しました。(参考添付資料)

18. 障害福祉サービス事業所ぴっころ就労継続B型事業所の運営・・・・・・・・

就労継続支援B型事業所として「障害福祉サービス事業所 ぴっころ」を運営しました。

所在地 みなかみ町月夜野 644-2

事業開始日 平成29年10月1日

入所定員 20人

専任指導員 5人(常勤換算)

敷地面積 2,562.83㎡

建物面積 352.99㎡

通所者の現況 20人(令和7年3月31日現在)

通所者の現況内訳						
男女別	男 11人	女 9人				
地区別	月夜野 10人	水上 1人	新治 8人	沼田 1人		
年代別	10代 1人	20代 6人	30代 7人	40代 4人	50代 1人	60代 1人
障害種別	知的 18人	身体 2人				

通 所 手 段	自主通所（徒歩・自転車・バス・家族送迎）又は施設送迎
開所日・時間	月曜日～金曜日午前８時～午後５時
休 所 日	土曜日・日曜日・国民の祝日 夏季休暇　８月１３～１６日　年末年始１２月２９日～１月３日 他、休日販売等行った場合には月曜日等を振替休所とした。
作 業 内 容	受託作業…ＮＴＴ公衆電話室清掃・町有墓地及びトイレ清掃 月夜野きのこ園・丸久物産・他、内職・作業請負 自主商品製作・販売…パン・木工品・和紙工芸品・縫製品・菓子等 作業中心にて、半日帰り外出等実施
年 間 行 事	
（開所日数）	２３９日
（延べ通所人数）	４，５４２人
（年間総売上）	１１，３６５，５４７円
（配分金支払い）	５，２８９，６５２円（１人月平均２３，２００円）